



# ～若き心 集まるところ～

No.11

茅ヶ崎市立鶴が台中学校長 力石 裕司

## Today is the first day of the rest of your DAICHU life! ~毎日がスタート!

冬休みが終わり新たな年が始まったと思ったら、あっという間に1ヶ月が過ぎ2月になりました。3年生にとっては、卒業まで残り40日を切りました。(登校するのはたった26日です)進路については、昨年度から始まった公立高等学校のWeb出願も無事に終わり、受験する生徒は、試験当日に向けてラストスパートをかけているところです。



12月から、私立の高等学校等の推薦受験希望者を中心に校長面接を行いました。「台中のいいところは?」「3年間で自信をもって頑張ったと言えることは?」などの様々な質問に、どの生徒も緊張感をもちながらしっかりと答えてくれました。最後の質問は「将来、どんな人になりたいですか?」・・・具体的な職業ではなく、「信頼される人」「誰からも愛される人」「いろいろなことに挑戦し続けられる人」など、まだ15歳ながら、将来に向けた力強い思いを感じさせるたくさんの言葉を聞かせてもらいました。

そのような中、冬休み明け初日の全校集会では次のような話をしました。なんとなく過ぎていきがちな毎日ですが、全ての台中生には、「なりたい自分」を目指して、時々、「今日までの自分」を見つめ直し、「明日からの自分」を想像しながら、毎日を残りの人生の新たなスタートとして一歩一歩進んでいってほしいと思います。

今日は新年の新たなスタートに立つ皆さんに、言葉を一つ紹介します。薬物中毒患者救済機関施設の設立者であったチャールズ・ディートリッヒという方の言葉で、1960年代・・・私が生まれた頃なのでいぶん昔ですが、映画のセリフにも使われるなど、アメリカで流行した言葉です。

### Today is the first day of the rest of your life.

「今日という日は、残りの人生の最初の日である。」という意味です。

人は、自分自身のことも他人への評価にも、過去の成功や失敗にとらわれてしまう傾向があります。「前の方がよかった」「以前うまくいかなかったから」・・・など、ついついマイナス思考になってしまうことがあります。皆さんのこれからの人生は、当然これまでの努力や経験が影響します。しかし、「今何をするのか」、「これから何をしていくのか」の方が大切です。この言葉は、そんなことを伝えてくれるものだと思います。新たな一年が始まりました。これから数十年と続く、皆さんの残りの人生だけでなく、残りの台中生活の最初の日でもあります。

### Today is the first day of the rest of your DAICHU life!

気持ちを新たに、それぞれの目標に向かって自分を変えていく一日一日を積み重ねていってほしいと思います。

## 『広報ちがさき』県広報コンクール(組み写真部門)で最優秀作品に!



茅ヶ崎市立中学校の学校給食を紹介した「広報ちがさき 12月号」が、県の広報コンクール組み写真部門で最優秀を受賞しました。表紙には本校1・3年生4人が給食を食べている姿が大きく掲載され、「給食の作り手の思いと食べ手の喜びが大胆な組み合わせにより相互反応してさらに楽しい仕上がりになっている」との講評がありました。

先日、茅ヶ崎市役所広報シティブロモーション課より連絡があり、受賞の報告と感謝の言葉をいただきました。写真撮影・取材に協力してくれた生徒たちの「美味しそうな」笑顔が決め手になったかもしれませんね。最優秀なので県の代表として全国大会にも出展されるとのことです。全国でも上位入賞を期待します!

# 『学校評価アンケート』へのご協力、ありがとうございました

今年度もWebによるアンケートを実施させていただきましたが、全体の約70%にあたる297名の保護者の皆様からご回答いただきました。生徒、教職員へのアンケート結果と合わせ、分析結果やアンケート結果を受けての今後の方針等について3月の学校運営協議会で共有し、保護者の皆様にも学校説明会等の機会にお伝えさせていただくとともに、次年度以降の学校運営・授業改善等、本校の教育活動の充実に生かしてまいります。ありがとうございました。



## 1月23日(木) 今年度最後の校内研究

本校では、今年度の校内研究のテーマを『認め 励まし 価値づける～言葉で育てる“心”と“場”と“力”』とし、よりよい授業を目指し研究を進めています。昨年度に引き続き慶應義塾大学教職課程センター教授の藤本和久先生にお越しいただき、毎回、朝から一日授業を見ていただいたあと、講演していただいています。



1月23日、今年度最後の校内研究を行い、午後は次の授業紹介にある1年4組の社会の授業公開となりました。茅ヶ崎市教育委員会の学習指導講座も兼ね、市内の小・中学校から3名の先生方も参加しました。学習指導要領がおおよそ10年単位で改訂されるように、10年、20年先以降に社会を支える一員となる子どもたちに身につけさせたい力は時代と共に変わっていき、学校教育に求められることも変化し続けます。そのため、私たち教師にとって、授業づくりにゴールはなく、何十年と経験しても、常に授業改善の必要性を感じます。その授業改善に、学校がチームとして取り組んでいくことはとても大切なことです。

本校では令和7年度から約12年ぶりの茅ヶ崎市教育委員会推薦研究の3年間が始まります。今後も引き続き、全ての教員が常に自身の課題を意識しながら授業改善に取り組んでいけるような校内研究体制を作り、「学び続ける教師集団」を目指してまいります。



そうだ、“教室”へ行こう!



授業の様子・先生方のこだわりなどを発信します!

今回は1年4組 社会の授業です! テーマは「鎌倉幕府はなぜ滅亡したのか?」・・・一人一人がまず自分の予想を立て、グループでシェア、他のグループとの交流と、生徒たちはこれまでの学びや知識から考え、仲間との交流を通して新たな気づきを得たり、自分の予想を考え直したり、全員が真剣に課題に向き合っていた授業でした。考え込み眉間にしわを寄せたり、仲間共感してもらい笑顔になったりするなど、場面場面で変化していく生徒たちの表情が見られました。生徒からは、「正解がない課題を、みんなで話し合いながら解決していく活動が多く、自ら学ぼうと思える授業です。」「先生は関連するいろいろな質問をしてもしっかりと答えてくれるから、社会に興味がわきます!」などの声が聞かれました。



先生の授業へのこだわりは・・・? 「えっ!ウソ!!ホント?」という意外な事実から興味関心を引き出し、生徒が主体的に課題を追究し、自ら「気付いた」という学習の達成感をもてるように心がけています。また、生徒が自らの「気付き」を実感するために、教師が説明する時間をなるべく短くして、生徒が思考する時間、他者と交流する時間の確保に努めています。そんな授業を通して、「社会は面白い」「社会が好き」という生徒が増えてくれることを願いながら、(老体に鞭打ち)日々の授業に取り組む毎日です。

### 教頭先生のつぶやき・・・

先日、交番に落とし物を届けている本校の生徒を見かけました。その生徒は、拾ったお金(10円)を届けていました。落とし物を拾ったら交番に届けるという当たり前のことをしているのですが、ややもすると金額の大小にとらわれ、「届けない」「見過ごす」等の行為になってしまいがちです。交番の警察官も金額の大小にかかわらず、きちんと対応してくれていました。台中生の当たり前のことを当たり前でできる振る舞いにうれしく思うとともに、警察官の対応の素晴らしさに感動したことを職員室の中でも話題にしました。